

町民検診

歯科健診を毎年の健診とすれば

町 かかりつけ歯科医での定期的受診を



主枝 幸子 議員

議員 特定健康診査や一般健康診査に歯科健診の導入は。

町長

平成6年度から13年度まで一般健康診査時に実施した経緯があるが、歯科医院の休診日や休憩時間に合わせる必要があるため受診者が少ない状況であった。現在は、節目年齢の方に個別の歯周疾患検診を実施している。

歯周病予防などのため歯科健診を定期実施する必要性を感じるが。

町長

町独自制度として、妊娠期間中における妊婦の歯科健診、生後2歳になつた幼児を対象とした歯科相談、40歳から70歳までの方を対象とした歯周疾患検診、80歳と85歳になられた方を10歳刻みで対象とした口腔機能チェックを含む歯科健診を実施している。

議員 歯科健診の必要性の啓発方法は。

保険健康課長

個別受診券券送付時や保健師などが地域に出向き、直接周知啓発する。



歯科医での定期的受診は欠かせない

議員 本町においては、災害ストレス、コロナストレスで罹患者が多いと思われるが。

町長

带状疱疹は、感染性の疾病ではないため、医療機関から保健所への報告がないため人数は不明。

「コロナ禍のストレスで患者は増加している。高齢者にワクチン接種が必要と考えるが。」

町長

带状疱疹ワクチンは、予防接種法に基づかない

ワクチン接種

带状疱疹ワクチンに町の助成を

町 国の方針を待って対応する



柚木 喬 議員

任意接種に位置づけられており、現在、厚労省厚生科学審議会において、予防接種法に基づく定期接種としての検討が行われている。

議員 带状疱疹ワクチンに町が助成すべきと思うが。

町長

国の審議会において、定期接種化の審議が行われており、今後の動向を注視し、検討する。

議員 ある町においては、財源として地方創生臨時交付金を活用して昨年より動いているところもあるが。

町長

本町においては、令和4年度は使途が決まっており、活用できない。令和5年度は、国からの交付についても明らかになっていない。



突然の痛み・かゆみ

高齢者対応

町内高齢者の現状を聞く

町 高齢者が健康で安心して暮らせるまちに



瀧野 純敏 議員

後期高齢者の人口動向は把握しているのか。

町長

町の総人口は、緩やかな減少傾向になっている。高齢化率は横ばい状態で、今後は団塊の世代が全て75歳以上になる令和7年の75歳以上の人口は2412人、総人口に占める割合は18.9パーセントになる見込みである。

議員 高齢者の感染症予防支援対策は。

町長

全世界にマスク、手指消毒液の配布や広報さか、防災行政無線を活用した感染予防対策の啓発活動を実施。感染による重症化予防の観点から、高齢者へのコロナワクチンの優先接種を実施し、高齢者一人ひとりに、接種日や持参物などの確認を電話で行い、高齢者が確実に接種できるように、きめ細かな対応を行っている。

議員 高齢者が不自由なく外出、行動できる施策の考えは。

町長

社会福祉協議会の有償ボランティアによる外出支援の利用や、介護タクシー利用の方もおられる。今後はこのようなサービスに加え、地域で支え合う仕組みの構築のため、行政と地域包括支援センター、各関係機関が一体となり住民の方とともに取り組んでいく。

クラブ活動

学校クラブ活動の地域移行は

町 指導員の配置に向け関係機関と連携



中川 ゆかり 議員

教員の働き方改革を踏まえ部活動の改革はすでに始めているが、町の将来を担う子供たちにとって最善の策を構築しては。

学校教育課長

部活動は人格形成の大きな柱である。部活動指導員と連携し教員の負担軽減を図りつつ、子供たちの部活動の場を確保していく。

議員 施設・備品の充実を図る必要があるのでは。

学校教育課長

学校施設は緊急度の高いものから改修を進めていきたい。備品については、町費により充実を図っている。

また、部活動の大会参加費、交通費、物品購入費も町費で支援をいただき、令和4年度には寄付金によりサッカー部の屋根付きベンチと吹奏楽部のチューバを整備していただいた。

議員 町の将来を担う子供たちのために、更に充実させては。

教育長

部活動は中学校教育の魅力の一つであり、今後も学校の枠組みを大切に、引き続き部活動指導員の配置に向けて関係機関と連携していきたい。

町長

学校は子供たちのためにある。部活動も教育の一環であり、子供たちが元気に志を実現できるよう努めたい。



練習中の坂中野球部